

患者さんパンフレット

独立行政法人 国立病院機構
四国がんセンター



私たち医療スタッフは

- I 入院や手術に対する不安を軽減し、最良の状態での治療が受けられるようにお手伝いします

- II 手術後の苦痛を軽減し、合併症を起こさず、順調に回復され安心して退院を迎えられるようにお手伝いします



中心静脈カテーテルポート造設を 受けられる方へ

さま

担当医

受け持ち看護師

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように**患者さんご自身の目標**と**医療スタッフの目標**をあげています

入院期間は約3日の予定です

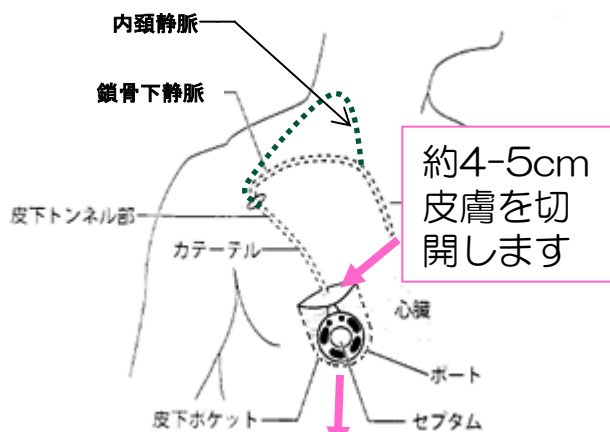
処置後の経過は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます



中心静脈カテーテルポート留置

鎖骨下静脈法、内頸静脈法について



ポートの種類



パワーポート
大きさ 25mm
採血可能タイプ



オルフィスCVキット
大きさ 25mm
採血不可タイプ

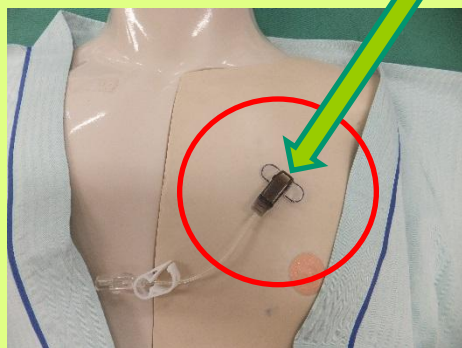
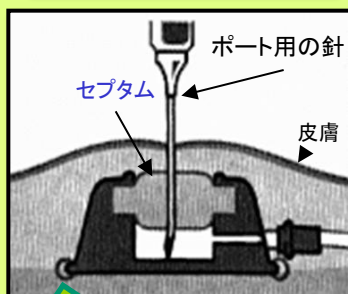
中心静脈から点滴を行う方法のひとつです。

腕の血管が脆い、細くてなかなか入らない、何回も針を刺されるのがつらい・・・など点滴時の針の挿入に苦痛があったり、抗がん剤が皮下にもれるような危険が高い方にお勧めできます。

✓カテーテルポートの埋め込みは皮下の局所麻酔にて行います。30-60分程度の手術です。

✓ポート留置後は日常生活に制限はほとんどありません。

点滴治療時の様子



①皮下にあるポートのセプタム部分へ皮膚の上から針を刺します。

②液の通り具合を確認したあと点滴を開始します。針を刺した周囲をテープで固定します。



今日の目標

- 入院生活、ポート造設について医療スタッフの説明が理解できる

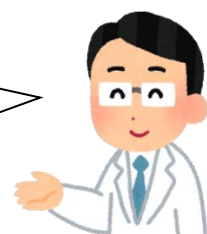
＜時間＞	＜予定＞	＜必要物品＞
12:00	昼食	・特にありません ＜説明＞
14:00	検温、血圧測定	・医師よりポート造設について説明があります（入院前に外来で説明があった方は不要です） ・説明を聞いた後、納得し同意できれば同意書にサインをして看護師にお渡してください ・わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください
18:00	夕食	＜お薬＞ ・他の病院で処方された薬は、一度お預かりします 医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします ・血液をサラサラにするお薬を飲んでいる方は、中止日を教えてください
21:30	消灯	＜食事＞ ・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください ・基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食になる場合があります ＜清潔＞ ・シャワー浴をしましょう

眠れないときや不安なときは安定剤をお渡ししますので看護師にお知らせください



医療スタッフの目標

- 処置の準備をすすめられるように支援します





処置前の目標

- ・ 予定どおりに処置を受けることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食

10:00

検温、血圧測定

12:00

昼食

14:00

検温、血圧測定

ポート造設の時間は医師や看護師がお伝えします

ポート造設の前に点滴があります

トイレに行っておきましょう

検温、血圧測定

術衣に着替えます

看護師と一緒に歩いて2階のX線TV室（Hブロック）まで行きます

※身につけている金属類などを病室で外してください

（眼鏡、指輪、ネックレス、ピアス、ヘアピン、時計、コンタクトレンズ、義歯など）

※義歯がある方は、水の入った義歯用の容器を準備し、保管してください

※貴重品は、セーフティーボックスに保管してください

※眼鏡をかけて行く場合は、眼鏡ケースをご準備ください

医療スタッフの目標

- ・ 予定どおりに処置が受けられるように支援します





ポート造設当日（処置後）

月 日

処置後の目標

- ・痛みや苦痛を我慢せず、医療者に伝えることができる

手術後の痛みについて

手術後の痛みについては、痛みの程度を看護師が数字でお聞きします（NRS）
数字での表現が難しいときは、フェイススケールでお答えください

1) NRS



全く痛くない

これ以上耐えられないほど
ひどい痛み

2) フェイススケール



0

1

2

3

4

5

痛みがない

少しだけ
痛い

もう少し
痛い

もっと
痛い

かなり
痛い

もっとも
痛い

ポート造設後

- ・処置が終わりましたら、看護師が車いすでお迎えに行きます
レントゲン撮影後に病室に戻ります

<時間>

<予定>

帰室時

検温、血圧測定
問題なければ点滴を抜きます

18:00

夕食

19:00

検温、血圧測定

21:30

消灯

今回埋め込んだポートの種類を
示したカードをお渡しします
カードは大切に保管し、医療機関に
かかる際に必要になりますので、
大切に取扱ってください

医療スタッフの目標

- ・処置後の合併症の早期発見に努めます





ポート造設後1日目（退院日）

月 日

今日の目標

- ・退院後の日常生活について理解できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

朝食
医師の回診があります

次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院
退院前に忘れ物がないようにご確認ください
「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、
2階でお支払ください

ポート造設後続けて抗がん剤治療を行う場合は、抗がん剤治療終了後退院となります
退院日は看護師がお知らせします

次回外来受診は

月 日（ ）時の予定です

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
・退院後の注意点を理解し、退院できるように支援します



ポート造設後の日常生活について

■活動

日常生活に制限はありません

スポーツ、マッサージ、リハビリなどもできます

皮膚が傷つく摩擦は避けましょう

シートベルトなどが当たる場合は、タオルを当てるなどして直接皮膚の刺激がないように注意しましょう



■ガーゼについて

ポート造設48時間後、ガーゼをとります

■抜糸について

抜糸は基本的には一週間後ですが、外来日によっても異なりますので、主治医にご確認ください

続けて入院される方は、入院中に抜糸になることもあります

■入浴

翌日からシャワー浴ができます

ガーゼがある間は、ガーゼがぬれないように注意しましょう

抜糸後は、浴槽につかることができます

入浴時は、傷口が腫れたり血が出たり、熱をもっていないかを確認しましょう



■検査について

MR I

現在使用されているCVポートは、3テスラまでのMR I 対応となっていますので検査に支障はありません

マンモグラフィー

ポートが胸に入っている場合は、検査によるポート破損の危険性が否定できないため、検査担当者にその旨を伝えてください

■埋め込んだポートの種類を示したカードの取り扱いについて

当院以外の医療機関にかかる場合に必要な場合があります

紛失しないように大事に取り扱ってください

健康保険証や運転免許証などと一緒に保管すると良いでしょう



- ポートを造設したところが退院時と比べて腫れや赤み、痛みが強くなったとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】 13:00~17:00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



中心静脈カテーテルポート造設を受けられる方へ